



アドバンス助産師 1万人超える CLOCMiPレベルⅢ認証制度 新たに5,440人認証

助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）[®]レベルⅢ認証制度（以下、CLOCMiP[®]<ク
ロックミップ>レベルⅢ認証制度）の認証機関である一般財団法人日本助産評価機構は、12
月24日付で第2回の認証結果を公表しました。2016年度の認証者数は、5,440人で、昨
年に引き続き5,000人を超える助産師が「アドバンス助産師」として認証されました。
昨年の5,562人と合わせると合計1万1,002人となりました。就業者に占める割合は
32.4%で、就業している助産師の約3人に1人が認証を受けていることとなります。

CLOCMiP レベルⅢ認証制度は、日本看護協会（会長・坂本すが、会員71万人）が開発
したCLOCMiPを活用し助産実践能力を評価することで、CLOCMiP レベルⅢに達している
ことを客観的に認証する仕組みです。5年ごとの更新制で、助産師が継続的に自己啓発
を行い、専門的能力を高めることにより、妊産褥婦・新生児に対し、安全で安心な助産
ケアを提供できること、そして社会や組織が助産実践能力を客観視できることを目的と
しています。

本制度は、日本看護協会を含む助産関連5団体からなる「日本助産実践能力推進協議
会」（日本看護協会、日本助産師会、日本助産学会、全国助産師教育協議会、日本助産評
価機構）が創設を進めてきた、全国共通の仕組みとなっています。

報道関係の皆さまには、この機会にご紹介頂きますようお願い申し上げます。

■CLOCMiP (Clinical Ladder of Competencies for Midwifery Practice) レベルⅢとは？

地域や施設機能・特徴に関わらず、自律して助産実践ができる助産師の評価
のためのツールとして、日本看護協会が「助産実践能力習熟段階（クリニカル
ラダー）」を開発しました。新人・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの5段階のレベルがあり、
今回の認証制度では、レベルⅢの能力を認証します。

<レベルⅢの到達レベル>

1. 入院期間を通して、責任をもって妊産褥婦・新生児の助産ケアを実践できる
2. 助産外来において、個別性を考慮したケアを自律して提供できる
3. 助産外来において、指導的な役割を実践できる
4. 院内助産において、自律してケアを提供できる
5. ハイリスクへの移行を早期に発見し対処できる

申請には、分娩介助例数100件以上などの申請要件に加え、教育や管理がレベルⅢ相当であ
ることの施設内承認が必要です。認証申請に合格した助産師は「アドバンス助産師」として認証
されます。右上の図が認証マークです。



2016年度 都道府県別合格者状況

都道府県	合格者 (人)	就業助産師に 対するアドバンス 助産師の割合	就業者数* (人)	都道府県	合格者 (人)	就業助産師に 対するアドバンス 助産師の割合	就業者数* (人)
全国	5,440	16.0%	33,956	24 三重県	48	12.4%	386
1 北海道	302	18.3%	1647	25 滋賀県	67	14.5%	461
2 青森県	82	25.8%	318	26 京都府	161	17.8%	903
3 岩手県	77	20.8%	370	27 大阪府	392	15.3%	2564
4 宮城県	102	13.9%	735	28 兵庫県	239	17.9%	1334
5 秋田県	58	17.7%	328	29 奈良県	71	21.8%	326
6 山形県	72	22.9%	315	30 和歌山県	48	17.3%	278
7 福島県	74	15.9%	466	31 鳥取県	45	19.7%	229
8 茨城県	89	13.9%	642	32 島根県	48	16.8%	285
9 栃木県	75	16.2%	462	33 岡山県	76	16.8%	453
10 群馬県	104	22.0%	472	34 広島県	92	13.9%	664
11 埼玉県	188	13.3%	1412	35 山口県	44	10.4%	423
12 千葉県	197	14.8%	1335	36 徳島県	62	27.7%	224
13 東京都	544	14.9%	3651	37 香川県	42	14.5%	290
14 神奈川県	374	17.0%	2196	38 愛媛県	43	13.9%	309
15 新潟県	89	11.3%	790	39 高知県	32	19.8%	162
16 山梨県	35	15.1%	232	40 福岡県	200	15.1%	1323
17 長野県	121	15.2%	797	41 佐賀県	17	8.2%	208
18 富山県	48	13.3%	360	42 長崎県	34	8.5%	401
19 石川県	54	16.0%	337	43 熊本県	55	12.5%	441
20 福井県	32	14.7%	218	44 大分県	50	14.8%	338
21 岐阜県	143	23.8%	600	45 宮崎県	60	19.5%	307
22 静岡県	173	18.2%	952	46 鹿児島県	98	17.7%	554
23 愛知県	289	14.1%	2051	47 沖縄県	94	23.1%	407

※平成26年衛生行政報告例を参照

公益財団法人日本助産評価機構 12月24日発表